

竹田警察署協議会

第1回会議の開催状況

第1 開催月日

令和7年6月13日（金）

第2 出席者

協議会 委員 4名

警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、警備課長 6名

第3 議事の概要

1 管内治安概況の説明

警察署から、

- ・管内治安概況

について説明がなされた。

2 諮問事項の説明

警察署から令和7年度の諮問事項

- ・総合的な高齢者対策

について説明がなされた。

3 諮問事項に関する委員からの意見

(1) 管内の交通事故危険箇所について

委員から「高齢者マークを付けた車両が、歩行者優先について理解ができていないと思う。特に、歴史資料館先三差路では、一旦停止箇所では停止していないことから、小学生等の歩行者が危険な箇所がある。また、会々トンネル先交差点は通学路となっているが、危険な運転が多い」旨の意見がなされ、警察署から「現状を確認し、どのような対策がとれるのか検討したい」旨の説明がなされた。

委員から「ローソン竹田会々店先の押しボタン式信号は、ボタンを押下した後、信号が変わるまでの時間が長い。また、車両が赤信号を見逃して信号無視することもあり危険である」旨の意見がなされ、警察署から「信号の視認性を確認し、見えにくい等の問題があれば改善したい」旨の説明がなされた。

(2) 高齢者の運転免許証の返納について

委員から「高齢者の運転免許証の返納を促してはどうか。高齢者の返納に伴い、タクシー無料券などの補助があればよいのではないか」旨の意見がなされ、警察署から「返納を促すにもそれなりの理由が必要であり、一律に年齢だけで返納を促すことはできない。補助事業については関係機関と連携してい

く」旨の説明がなされた。

(3) 交通死亡事故現場の今後の交通事故防止対策について

委員から「竹田市久住町で発生した交通死亡事故の具体的な交通事故防止対策をお願いしたい」旨の意見がなされ、警察署から「すでに警察署長が交通事故現場の確認を行い、早期に対応できることがないか検討中であり、今後、道路管理者等と現場確認を行い、さらなる対応を行う予定である」旨の説明がなされた。

(4) 広報のあり方について

委員から「見せる・見える・呼びかける広報が必要であり、多くの竹田市民がケーブルテレビを見ていることから、署長、副署長がケーブルテレビに出演し、PRしてはどうか」旨の意見がなされ、警察署から「ケーブルテレビへの出演は検討していきたい」旨の説明がなされた。

委員から「反射材の使用や夕暮れ時のライト点灯など、YouTubeや市の広報などを通じて推進してはどうか」旨の意見がなされ、警察署から「警察本部で公開している動画がある」旨の説明がなされた。